新居湖	兵工業高	等専門学校	開講年度	令和02年度 (2	2020年度)	授	業科目	英会話 2			
科目基礎	 計量報				•	•					
科目番号		101770			科目区分 一般 / 必修			 修			
授業形態		講義			単位の種別と単位	位数	履修単位:				
開設学科		電子制御			対象学年						
開設期		前期			週時間数	2					
教科書/教	 材	Nothing		72. 312327		-					
担当教員	1,2		フリストファー・オ	w ト –							
	<u> </u>	12702	7 7 71	<i></i>							
1. Show 2. Make 3. Make 4. Demo	an impro students students onstrate s	vement in to communica understance peaking abi		from !st year nt level differeences betwe	en Japan andthe	e world					
ルーブリ	<u> </u>							_			
			理想的な到達レ	標準的な到達レベルの目安			未到達レ	ベルの目安			
評価項目1			Uses proper vogrammar and vocabulary	ocabulary and Communicates of Meaning is under many errors			oanlly. d but	Remain	silent		
評価項目2			Uses proper se construction to themselves ap	r sentence Communicates in broke n to express English. Meaning can b				Remain silent			
評価項目3	1		beyond simple	Expands answers and speech beyond simple sentences. Can express ideas more deeply Can answ speak in n			simply but should Rrema		ain silent		
評価項目4	1		SHow good ab	SHow good ability, animation and presences in presentations minimum level					t do present	ations	
学科の至	 達目標「	頁目との関]係								
コミュニク	ケーション	 能力 (E)									
教育方法		. ,									
概要 class is digroup wo more flue Students			lents in this class are expected to show an impovement in their English skills from the 1st year. The lesigned so taht students will talk about both school experiences as well as life experiences. Small ork as well as presentations will be used. The goal of this class is to make students communicate at a ent level by using proper sentence construction and expressing themselves appropriately. are required to speak English as fluently as possible. : 英会話 1、英会話 3								
 注意点				try to use proper s	sentences and ex	xpress i	themselve	<u></u>			
<u>本科目</u> σ)区分	100000000	<u> </u>	, to use p. sps. s		тр. ссс					
Webシラ/ 本科目は履	バスと本校 ፪修要覧(p.		科目区分では表記が る「④選択科目」で	異なるので注意する ある。	こと。						
授業計画	1	T _s	I			l ».					
		週		受業内容			週ごとの到達目標				
	1stQ	1週	Reduced Speech		1,2,3,4						
		2週	•	xpansion Work & Self-Introduction Presenta			· / /				
		3週	TOEIC Review				1,2,3,4				
前期		4週	Grammar Question Review 1 1,2,3,4				4				
		5週	Experience				1,2,3,4				
		6週		esent & Past Tense			1,2,3,4				
		7週		esent Tense - Routines			1,2,3,4				
		8週	Present Tense - F		1,2,3,4						
	2ndQ	9週	Present & Past Tense - Used to, Not Anym			1,2,3,4					
		10週	Numbers 1				1,2,3,4				
		11週	Numbers Present	ımbers Presentations			1,2,3,4				
		12週		ture Tense 1 - Modal Verbs of Prediction			1,2,3,4				
		13週	Future Tense 2 - wanna,gonna,Hafta - Reduced Speech in Conversation				1,2,3,4				
		14週					1,2,3,4				
		15週									
		16週 期末試験									
モデルニ	<u> </u>	トユラムの	学習内容と到達	目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目					到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文· ^社 科学	^{注会} 英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。			3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前			

現在										前1,前2,前 3.前4.前
日常生活や身近な語解に関して、自分の意見や感想を整理し、3 3m4-m 1005					日常生活や身近な 現を用いて英語で	本的な表	3	11,前12,前 13,前14,前		
四国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 3 (3 前4 前									3	3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前
実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。					母国以外の言語や 面で積極的にコミ	文化を理解しよう ュニケーションを) とする姿勢をもち、 図ることができる。	実際の場	3	3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前
英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、物事的のディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、物事的の学育を含。3 前4,前5,前6,前7,前8,前 1,前12,前14,前13,前14,前 1,前12,前 1,前 1,前12,前 1,前 1,前 1,前 1,前 1,前 1,前 1,前 1,前 1,前 1					実際の場面や目的 (ジェスチャー、ア	に応じて、基本的 イコンタクト)を]なコミュニケーショ 適切に用いることが	ン方略 できる。	3	3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前
英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、 学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。3 3,前4,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前4,前 15母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。3 3,前4,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前1,前2,前 13,前4,前 15実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。3 3,前4,前 7,前8,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前1,前2,前 13,前4,前 15評価割合試験 総合評価割合発表・態度 20 20 				力向上のた	英語でのディスカ 、教室内でのやり! きる。	ツション(必要に/ 取りや教室外で <i>の</i>	むじてディベート)を D日常的な質問や応答	想定して などがで	3	3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前
おの学習 日本の 日					英語でディスカッ: 学生自ら準備活動 [:] 。	ション(必要に応じ や情報収集を行い	じてディベート)を行 い、主体的な態度で行	うため、 f動できる	3	3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前
実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適					母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外 で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。				3	11,前12,前 13,前14,前
試験 発表・態度 課題 態度 ポートフォリオ その他 合計 総合評価割合 50 30 20 0 0 0 100 基礎的能力 50 30 20 0 0 0 100					実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 切に用いることができる。					3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前
総合評価割合 50 30 20 0 0 0 100 基礎的能力 50 30 20 0 0 0 100	評価割合									
基礎的能力 50 30 20 0 0 0 100										
						+-				
19957HVIBE/1 III III III III III III III III III I	-			1		+				U
分野横断的能力 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0			+				